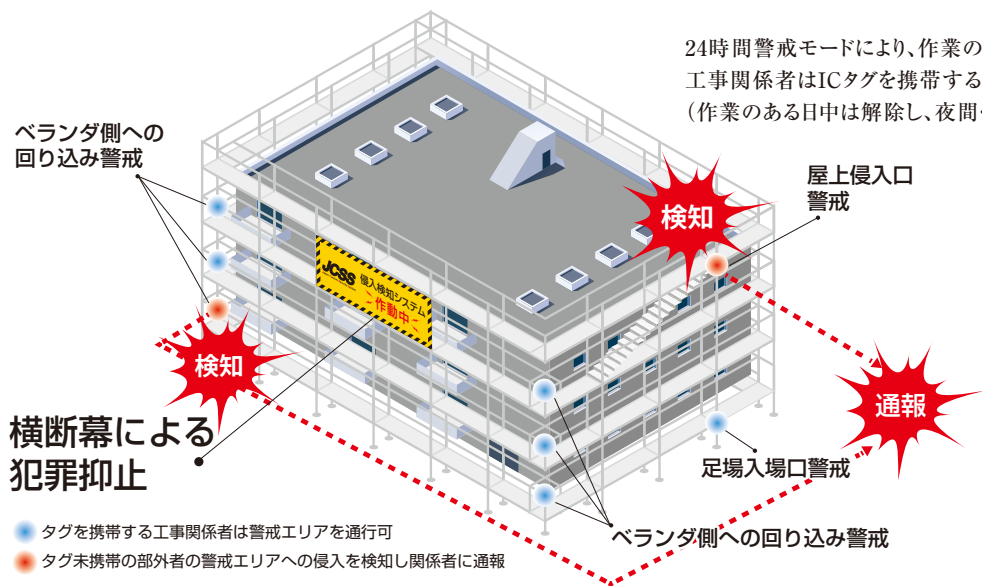


集合住宅の修繕工事期間中に、仮設足場を利用した不正侵入、空き巣被害が増えています。工事期間中の居住者様の安心と安全を確保するために、不正侵入を抑止するセキュリティ対策が必要です。『JCSS』は、足場を利用して侵入する部外者を検知するセキュリティシステムです。すでに、多くのお客様に選ばれて導入されています。まずは、ご相談お見積をご依頼下さい。



24時間警戒モードにより、作業のある日中も部外者・侵入者を警戒します。工事関係者はICタグを携帯することにより、警戒エリアをフリーパスで通行できます。(作業のある日中は解除し、夜間・休日のみ警戒モードをセットするプランもございます)



概要 工事関係者はタグを携帯しているため、警戒区域を通行することができます。タグ未携帯の部外者が、警戒区域に侵入すると、警報・警告および関係者の携帯や警備会社に通報します。

【設置イメージ】



1 警戒区域にタグ検知器を設置し、通行する人物のタグの有無を判定します。

2 タグ未携帯の部外者を検知すると、検知した警戒区域情報をメインパネルにワイヤレスで通報します。
※タグ検知器からメインパネルまでの距離が離れている場合(見通し100m以上)は、別途中継器が必要です。

3 メインパネルにはメール転送機能を標準で搭載しているため、指定携帯電話に検知情報を転送します。



特徴 『高セキュリティ』『簡単設置』『低コスト』で、不審者の侵入を抑止できる仮設足場用侵入検知システムです。部外者の居住区への侵入抑止はもちろん、居住者の不用意な足場への侵入を検知することができます。

高セキュリティ

従来の赤外線センサーによる検知方法ではなく、重量センサーを用いることで環境要因(光の反射や温度変化)の誤報と、小動物通過時による誤報がゼロになりました。一定重量以上の人間が通行した時のみ検知します。

- 誤報ゼロ
環境要因による誤報はありません

簡単設置

侵入検知システムは、バッテリーで動作するため配線工事が不要です。重量センサーは足場に簡単に取付けでき短時間で機器の取付が可能です。

- 配線工事不要
- 携帯電話転送サービス標準装備
インターネット回線契約や設定が必要ありません。

低コスト

「必要な時に」「必要な期間だけ」システムを利用できるレンタルサービス対応。搭載バッテリーでシステムは4ヶ月間駆動し、工事期間中の電池交換メンテナンス不要です。

- メンテナンスフリー
- 配線工事費不要

